

第63回 東海連合弓道大会 実施要項

- 1 目的 東海地区の弓道を愛好する会員が一堂に会し、競技力の向上と親睦を図る。
- 2 主催 東海弓道連盟連合会
- 3 後援 (公財)全日本弓道連盟
- 4 主管 三重県弓道連盟
- 5 期日 令和6年12月1日(日) 受付8:20 優勝杯返還・開会式8:50 競技開始9:30
- 6 会場 三重武道館弓道場(津市)
〒514-0056 津市北河路町19-1 電話: 059-223-4655
※ JR・近鉄 津駅東口から三交バス「南河路」下車 バス25分 徒歩5分
※ タクシー利用の場合、津駅から約 10分車
※ 自家用車の場合、近畿自動車道伊勢線(伊勢自動車道)「津IC」より3分。
- 7 種目 近的競技(坐射・霞的)
- 8 種類 個人競技
- 9 種別 (1) 四段以下の部
(2) 五段以上の部
- 10 競技方法 的中制
(1) 予選 四つ矢1回 計4射 4射3中以上が決勝進出
(2) 決勝 射詰競射。射詰競射3射目から24cm星的使用する。
失中の場合の順位決定は遠近競射。
- 11 表彰 各種別 5位まで
- 12 参加資格 東海4県弓道連盟会員
- 13 適用規則 本要項に定めのない事項は(公財)全日本弓道連盟競技規則による。
- 14 申込方法 (1) 参加料 1名 2,000円
(2) 各弓道会で取り纏め所定の申込書を電子メールで、参加料は指定の口座に申込む。
(3) 愛知県内の申込先 **振り込みは個人名ではなく弓道会名を入力してください**
省略

- 15 その他 (4) 愛知県の申込期限 **令和6年10月25日(金)**
(1) 替矢を持参のこと。矢返し・射遅れは認めない
(2) 大会役員・競技役員も競技に参加できる
(3) 役員・選手を対象としてスポーツ傷害保険に本会で一括加入する
(4) 新型コロナウイルスの感染状況により変更・中止・観戦者制限する場合がある。

※ 個人情報の利用目的について

申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
ただし、下記(2)の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。

- (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載(氏名、所属団体、称号、段位)
- (2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載(氏名、所属団体、称号、段位、写真、動画)
- (3) 本連合会ならびに所属連盟広報活動として使用される各種メディア(出版社・テレビ局等)への提供(氏名、所属団体、称号、段位、写真、動画)
- (4) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
関係各法令を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

※ 映像の取り扱いについて

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

以上
東海弓道連盟連合会

日 程 表 (案)

進捗状況により変動しますので射遅れ等にご注意ください。

| | | |
|---|---------------|-------------|
| 1 | 受付 | 8:20~8:50 |
| 2 | 優勝杯返還・ 開会式 | 8:50~ |
| 3 | 矢渡 | 9:10~ |
| 4 | 予選(四段以下) | 9:30~11:25 |
| | 昼食休憩 | 11:25~12:15 |
| | 予選(五段以上) | 12:15~14:20 |
| 5 | 決勝戦 | 14:30~ |
| 6 | 閉会式 | 16:30~ |

競技内容・補足事項

本大会は、全日本弓道連盟競技規則及び大会実施要項に基づき実施する

1 競技内容

- ① 近的：個人戦
- ② 坐射：3人立3射場
- ③ 射手間隔：175cm
- ④ 射場間隔：300cm
- ⑤ 予選：4射3中以上で決勝進出
- ⑥ 決勝：射詰競射
 - ・四つ矢を持って招集場所に集合
 - ・1本ごとに行射し、退場
(的中者の状況によって、本座に戻り、次の矢を受け取る場合がある)
 - ・射詰競射3射目から24cm星的(第1・2射場)を使用する。
そのため四段以下の部を2射で中断し、五段以上の部の2射を行う。
 - ・優勝決定以外は遠近競射にて順位を決定(失中者7名以上の場合は、
6名以下または順位確定まで射詰競射を行うことがある。)
 - (射詰競射において、全員が失中した場合は遠近競射とする場合がある)
- ⑦ 表彰：各種別5位まで

2 補足事項

- ① 3射場同時進行とする。
- ② 進行の一番早い射場の3番目射手の3射目の弦音にて入場する
- ③ 欠席者は空けたままとする(ただし、状況により詰める場合がある)
- ④ 競技の間合いにて、各立7分30秒以内の進行に努められたい
- ⑤ 弦切れ時は、矢の処理前に進行委員に弓を渡すこと
- ⑥ 貴重品は各自で管理すること、またゴミは各自持ち帰ること